

2023年12月1日

「全社データ活用基盤」の運用開始について ～新たな価値を生み出すDXの取り組み～

足利銀行（頭取 清水 和幸）は、めぶきフィナンシャルグループが掲げる「DX戦略ロードマップ」に基づき、2024年1月9日より、プラットフォーム「全社データ活用基盤（以下、本基盤）」の運用を開始しますので、下記のとおりお知らせいたします。

本件は、自由にデータを利活用できるプラットフォームを構築することで、業務上の判断や意思決定、ビジネス課題の発見・解決をデータドリブンかつアジャイルに行うことを目的とするものです。

本基盤は、日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区 以下、日本マイクロソフト）が提供するパブリッククラウドプラットフォーム「Microsoft Azure（※）」上に構築するもので、株式会社ブレインパッド（代表取締役社長 CEO 関口 朋宏 以下、ブレインパッド）および山口フィナンシャルグループ（代表取締役社 CEO 椋梨 敬介 以下、山口フィナンシャルグループ）の子会社である株式会社データ・キュービック（代表取締役多賀本 悠介 以下、データ・キュービック）の協力により実現いたしました。

当行では、今後も、DXの取り組みを進め、地域と地域のお客さまに新たな価値を創り続けてまいります。

※Azureは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

【関連資料】

[2022年11月1日 ニュースリリース「DX認定事業者」の取得およびDX戦略ロードマップの策定について](#)

記

1. 「全社データ活用基盤」について

当行が保有する多種・大量のデータを、一元的に蓄積・加工・分析・活用するための仕組みであり、「迅速性、柔軟性・拡張性、信頼性・セキュリティ」に優れた日本マイクロソフトの「Microsoft Azure」上に構築することで、従来は多くの時間を要していたデータの抽出や加工業務を効率化するとともに、より高度なデータ分析が可能となります。

本基盤の構築にあたり、基盤構想策定コンサルティングから要件定義/構築/保守までを金融機関のデータ利活用支援や基盤開発の経験が豊富なブレインパッドに委託しております。

また、データ・キュービックにおいては、既に取り組みを進めている山口フィナンシャルグループの事例から、データ基盤におけるデータ種別の利用状況やネットワーク構成などの知見を提供いただきました。

2. 全社データ活用基盤構築後の活用について

本基盤の構築後は、データの活用推進の高度化・自動化のフェーズに合わせて、本基盤の整備と活用できる人材の育成を行ってまいります。より効率的かつ高度なデータ活用を目指すことで、さらなるお客さまサービスの高度化に繋げてまいります。

以上



足利銀行



めぶきフィナンシャルグループ

足利銀行

栃木県宇都宮市桜4丁目1番25号 〒320-8610

TEL.028-622-0111(大代表) www.ashikagabank.co.jp